

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	山県市	学校名	山県市立梅原小学校			
校長名	原 永子	対象学年	3年・4年・全校	人数	65人	
活動名	3年 梅原のすてき発見 4年 食べることから学ぶ 全校 ゆう・友・ふれあいフェスタ 学習発表会	時間数	3年 (66) 時間 4年 (66) 時間 全校 (4) 時間 全校 (1) 時間	継続年数	10年	
題材	1 自然環境 (山野・河川・動物・植物・その他) [] ② 歴史 (出来事・史跡・先人・その他) [梅原の歴史・災害を知る] ③ 文化 (芸能・芸術・民話・風習・その他) [梅原音頭の継承] 4 地場産業 (農業・水産業・伝統工芸・その他) [] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [ゆう・友・ふれあいフェスタ・学習発表会等] 6 その他 () []					
複数年継続するための工夫改善	毎年実施する「ゆう・友・ふれあいフェスタ」の中で、活動の一部として地域住民の講師を招き、全校児童がふるさと梅原の歴史を知ることができるよう位置づけている。					
1 ねらい	ふるさと梅原で、先人が積み重ねた努力や知恵を学び、世代を超えた人間関係を構築すると共に、ふるさとを愛し誇りに思い、梅原の暮らしをよりよいものにしていこうとする心情を育むことができるようにする。					
2 活動の概要	(1) 梅原のすてき発見 (3年生) 市重要文化財である加茂神社 (京都の下賀茂神社末社) について、地域講師の方から学んできた。10年ほど前に復活した梅原音頭の歌詞には、その加茂神社や梅原尋常小学校を始めとした100年前の梅原の各地域の様子が歌われている。総合的な学習の時間に、保存会の方から歌詞に歌われた時代の梅原の様子を教えてください、踊りに込められた先人の願いを学び、学習発表会では学習の成果を発表したり歌い演奏したりした。 (2) 食べることから学ぶ (4年生) 畑の先生から大豆の栽培を学び、収穫した大豆で豆腐、味噌等を作り、加工の大変さを感じ取る。4年生の時に作った味噌を使った豚汁を翌年のゆう・友・ふれあいフェスタで地域の方々と一緒においしくいただく。 (3) ゆう・友・ふれあいフェスタ～梅原地域団らん (全学年) 11月の第2日曜日に、地域・保護者・卒業生・児童が梅原小学校に会する「ゆう・友・ふれあいフェスタ」を実施して10年になる。開会式では、4年生が梅原音頭を歌い演奏する。3年生の時に梅原音頭についての学習をし、山県市音楽会では歌詞に歌われた当時の地域の様子を思い浮かべ、ふるさと梅原を愛する心を込めて歌い演奏した成果を披露する機会としている。地域の過去を知るコーナーでは、地域の高齢者に講話をしていただく。戦後70年の昨年度は、昔の梅原小学校の学校生活、生活の道具、戦時中の暮らしの様子を語っていただいた。9.12水害から40年が経過した今年度は、梅原を襲った濃尾大震災や9.12水害等の自然災害について語っていただき、児童も保護者も梅原の先人の知恵や生きる努力について学んだ。					
3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子	生活科や総合的な学習の時間に、地域の高齢者の方から学んだふるさとの歴史や野菜・米の栽培を通じて、児童が知ったり考えたりしたことを、お礼の気持ちを込めて地域の公民館学習発表会で発表し、保護者や地域の方々に聞いていただいている。また、「梅原音頭」を運動会や夏の盆踊り大会等で、地域の方々と一緒に踊ることを通して、子どもたち自身が地域の宝と自覚して、地域への愛着を深めている。					
4 活動を通しての児童生徒の変容	地域の出来事や助け合って守ってきた土地や文化の様子を、地域住民の方から直接学ぶことで、世代間の絆を深め、自分達が生まれ育ったこの地域を誇りに思う心情を育むことができた。また、復活させた「梅原音頭」の歌詞を系統的に学ぶことで、もっと地域のことが知りたいと思い、祖父母に聞いた当時の商店街のマップを作ったり、夏休みに「昔の学校」の歴史を調べて作品にまとめたりするなど、自ら探求する児童が育ってきている。「梅原音頭」が、児童と地域の絆を深める大切な宝になっている。					